

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report ———
No.244
Apr, Mar, Jun, 2009

JID news

JID月報：通巻244号
平成21年4月・5月・6月号
発行日：平成21年6月30日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：酒井 正人

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：第41回 通常総会

第41回 通常総会議事報告	2
平成20年度 第6回理事会報告	2
平成21年度 第1回理事会報告	4
トップコラム	7
本部報告(総務委員会)	7
// (選考委員会・国際委員会)	8
JIDの新たな門出に(新・会員の声)	9
支部活動報告(関東事業支部)	10
// (中部事業支部)	11
// (関西事業支部)	12
// (九州事業支部)	13

事務局からのお知らせ	14
新会員紹介	15

通常総会報告

51年目の新たなステージへ ——平成21年度[第41回]通常総会開催——



JID第41回通常総会は、平成21年5月29日(金)当協会OZONE セミナールームAにおいて午後3時30分より開催。峰尾事務局長の開会の辞に続いて、定款23条による定足数161名(当日出席者は委任状147名を含む192名)に基づいた総会成立を宣言。酒井正人理事長を議長として議事に入った。(以下、議事内容は次頁へ)

写真上・左：総会会場 写真下：同日午後6時45分より新宿パークタワー8F クラブスクエアで開催された懇親会(酒井理事長の挨拶)
なお詳細は本部・総務委員会報告(7頁)に掲載



[第41回通常総会報告] 議事内容

議事

◆第1号議案：平成20年度事業報告(案)及び 収支決算(案)の件

議長が総括説明を行い、平成20年度は創立50周年を迎え、JID半世紀の活動実績を記念事業として1年間実行し、これを期に改革検討委員会を設置これからのJID検討、APSDA等国際活動を行い、又デザイン8団体他との交流を促進したと報告。

次に各々の事業報告(案)及び収支決算(案)の内容について事務局より報告。引き続き監事を代表して宇賀敏夫監事より去る4月28日東京において会計監査を行った結果が報告され、質疑の後、異議なく承認された。

◆第2号議案：JID創立50周年記念事業報告(案)及び 特別会計収支決算(案)の件

川上玲子創立50周年記念事業実行委員長より報告があり、峰尾事務局長よりJID創立50周年記念事業特別会計収支決算(案)について説明、異議なく承認された。

◆第3号議案：平成21年度事業計画(案)及び 収支予算(案)の件

議長が総括説明を行い、公益法人制度改革に伴う「公益社団法人」と「一般社団法人」への申請登録について、JIDとして組織の目指す方向を具体的に検討すること、又これからのJIDの人材・組織・財務等の基盤づくりと、会員が活動できる「職能団体としての新たな可能性」を充実させること、以上を目標とする旨説明。

次に各々の事業計画(案)及び収支予算(案)について事務局より説明が行われ、質疑応答の後、異議なく承認された。

◆第4号議案：本部特別事業計画及び 特別会計収支予算(案)の件

峰尾事務局長より平成21年度本部特別事業及び特別会計収支予算(案)について説明、異議なく承認された。

◆役員選挙規定一部改定報告

総会当日役員選挙規定一部改定議案として提出、峰尾事務局長より説明が行われ、論議したが、総会後役員選挙規定13条(規定の変更)により議案でなく、役員選挙規定一部改定報告に訂正、正会員に告知し承諾を得た。

◆JID功労表彰規約案

総会当日議案として提出されたが、議案としての根拠なく総会後削除することとし、正会員に告知し承諾を得た。

◆第5号議案：議事録署名人選任の件

池田和修、原光男両会員(関東事業支部所属)を選任。

理事会報告

平成20年度 第6回理事会

日時：平成21年3月27日(金) 16:15～18:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

本部事務局隣 OZONE 会議室

出席：理事長 酒井 正人

副理事長 阪井 良種、清家 淳一

理事 安藤 清、安藤 眞吾、小野 由記子、
佐藤 健一、長岡 貞夫、中田 重克、
村口 峯子、(欠席)川崎 泰秀

監事 川上 信二、(欠席)宇賀 敏夫

顧問 川上 玲子

事務局長 峰尾 武

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- [2] エコ基金について
- [3] 日本デザイン団体協議会(D-8)ジャパン・デザイン・ミュージアム
- [4] 平成20年度収支状況報告(1月末)
- [5] 財務運営資金繰り(2月末)
1) 本部 2) 50周年特別会計
- [6] 次回会議予定

II 議題

- 第1号議案 平成21年度予算(案)について
- 第2号議案 本部組織改訂及び人事について
- 第3号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第4号議案 会員入退会承認の件
- 第5号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

1. 総務・組織委員会

支部活性化「呼び掛け集会」セミナージョイント企画延期、支部活動告知のビジュアルプレゼンテーション案検討。JIDパートナーズ関東とアクトとの連携を考え、「トレンドセミナー」に変わる「異業種コラボトーク」等企画。

2. 事業委員会

次年度下町プロジェクト「デザイナーと職人の交流、地場産業振興、地域活性化」等検討。

3. 広報委員会

賛助会員ページ作成、各社ホームページリンク枠予定、バナー広告有料等実施又は予定及びJIDメールURLのみ掲載し各自ホームページから情報ダウンロードできるシステムバージョンアップ検討。

4. 国際・交流委員会

次年度四方山話は「様々な分野の職人の話」と事業委員

会下町プロジェクトとの連動考慮。

国際は本部と合同ミーティング有、次回はポルトガル文化庁
インターシップ受入要請検討。

5. 研究委員会

研究テーマ:激動の今「デザイン」について皆で考える、を
検討。

6. Rooms for care プロジェクトは21年度研究委員会から独立、 「からだところのデザイン展」(仮称)を11月19日(木)～24 日(火)まで OZONE で開催予定。

7. その他

平成21年度予算案作成につき本部よりの予算削減に協力、
プライオリティを決め実施を検討、その他支部定例運営委
員会は奇数月第2水曜日に予定。

◆中部事業支部(安藤清)

1. 1月～3月 JID中部学生賞授与(6校各1名)。
2. 1月23日 インテリア産業協会新春会情報交流会参加。
3. 2月10日 2月度役員会・連絡会開催。
4. 3月11日 インテリアフェスティバル2009-JID招待(ロボットデ
ザイナー松井龍哉氏講演)。
5. 3月26日 インテリアデザイン連絡会実施(第4回リレーセミナ
ー講演者上海在中大島弘資氏中国建築・インテリアの現況)。

◆関西事業支部(安藤眞吾)

1. 総務・広報委員会

2月19日(木)第6回運営委員会開催(大阪産業創造館会
議室)。

2. 国際委員会

2月3日(火)本部と合同国際委員会開催、出席者小野理事、
大森委員長(本部)大瀧委員長(中部)塚口委員長(関西)・
山内・古市・石川・ベリー(関西)オブザーバー清家副理事
長・安藤支部長・八十の各氏)で本部支部委員の意思疎通、
本部支部国際委員会活動報告及び関西支部会員の取組
プレゼン等実施。

3. 中国四国交流委員会

1月19日(土)「中国・四国インテリアデザイン交流会」を住宅
デザイン研究所会議室(広島)で開催、司会大野委員長、
座長小宮50周年副実行委員長。

4. 研究委員会

「セカンドライフの住まい」提案展覧会(仮称)具体化に向
けての検討。

5. JID-ACT kansai

3月11日(水)「関西デザイン学生シンポジウム」に参加(大
光電機セミナールーム)関西デザイン団体(JIDA、JID、JCD)
による「笑」をテーマとしたプレゼンテーション。

◆九州事業支部(川崎欠席、文書にて)

1. 1月19日(月)～23日(金)第7回「座る形展」開催(九州産
業大学美術館)。
2. 1月23日(金)「第4回学生ファニチャーデザインコンテスト」
開催。主催JID九州事業支部、審査員:賛助会員(株)アダ
ル 鎌田氏、(株)サカイ 浜本氏、(株)関家具 関氏、正会員
川崎理事、飯田支部長、山永事業委員長、江島交流委員
長、下田教育委員長、前崎総務委員長、菅原事務局長で

実施、表彰は中間報告会で予定。

3. 1月23日(金)JID50周年記念事業「中間報告会」を開催
40名参加、及び「第4回学生ファニチャーデザインコンテスト」
表彰式実施。

◆本部総務委員会(中田、佐藤、川崎)

委員会開催、12月20日、3月17日

1. 2009年ニューイヤーズパーティ開催、招待者15名、正会員
53名、賛助会員25名。
2. ビジネスパートナーズ充実・強化プロジェクトとして広げよう
賛助会員の輪「JIDサポーター110社アンケート」実施(JID
News 242号に同封)、アンケート回収を引き続き実施。
3. JIDリーフレット改訂版を佐藤理事チームリーダーと総務委
員で編集に入り、2009年5月アップ予定。
4. 2008年度は委員が50周年事業に専念のため本部総務委
員会活動が少なかったが2009年度は月1回の委員会を開
催、各月1委員が議長をつとめビジネスパートナーズ参加勧
誘等積極的に行う。
5. 第41回通常総会懇親会の設営準備を行う。
6. 改革検討委員会に提出していたJID功労賞表彰規約につ
いて最終的に整備理事会を経て総会提出予定。

◆本部国際委員会(小野)

1. 1月23日 プランナー協会新年会出席JIPAT志村会長、佐藤
勉国際委員長と今後の協力関係確認。
2. 1月14日 本部国際委員会と関東国際・交流委員会との合
同ミーティング実施。
3. 2月3日 本部国際・支部国際委員会との合同ミーティングを
関西で開催(清家デザイン事務所)、本部と支部の関係性
についての意見交換、本部と支部を繋ぐことの重要性・支
部情報の発信及び協力体制の確認で意義深い会合であ
った(出席者は関西事業支部報告に記載)。

4. 3月5日 香港貿易発展局と交流。

◆本部広報委員会 インターネット

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. 1月16日 新メンバーによる委員会開催。
2. 2月17日 現在のJIDインターネット環境を見直し、サーバーの
変更・メールシステムの改善・WEBサイトの刷新・英文ペー
ジの内容充実・付加的な会員サービス等踏まえ外部業者と
の検討を行う。
3. 3月5日 外部業者「エディプレックス」と打合せ。
4. 3月9日 外部業者「大塚商会」と打合せ。
5. 2月9日 IFIのリンクバナー設置。
6. 3月11日「2010年JID賞ビエンナーレ」応募要項掲載。

◆本部広報委員会 JID News

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. JID News 243号3月末発送予定で製作中。

◆選考委員会(長岡)

1. 2010JID賞ビエンナーレ応募要項を3月3日、339通発送(過
去応募者・新規応募予定者・一部マスコミ)。
2. 応募要項会員発送はJID News 同封で3月末の予定。

◆改革検討委員会(清家、阪井、長岡)

1. JID功労賞表彰規約(案)について他検討で功労賞表彰

規約は総務委員会で整備、総会に提出準備をする。

◆公益法人制度改革について

20年度は経済産業省・総務省の説明があり、又JID顧問会計事務所よりも説明をうけ日本デザイン団体協議会及び他団体との意見交換等情報の収集に努めた。

21年度は本部に公益法人制度改革委員会を設置し会員の意見等吸い上げながら周囲の状況を踏まえJIDの事業内容を精査し方向を検討する。

[2] エコ基金について

エコ基金に関しては20年度決定的な提供先がないため20年度は見送り、21年度に有力な提供先(木に関する)を検討実施することとし、役員各自が候補を提出調整する。

[3] 日本デザイン団体協議会(D-8)

ジャパン・デザイン・ミュージアム

日本デザイン団体協議会(D-8)ジャパン・デザイン・ミュージアム『パイロット展』について2010年度内(2010年4月～2011年3月)の期間に6日間ミキモトホール銀座にて開催予定で現在計画中、開催資金についてD-8積立金及び各団体よりの年会費7万円+5万円を2年間拠出、資金に当てると報告。(阪井副理事長)

[4] 平成20年度収支状況報告

事務局長より平成21年1月末収支状況について説明。

[5] 財務運営資金繰り

1. 本部21年2月末の状況について事務局長より説明。
2. 50周年特別会計21年2月末状況について事務局長より説明。

[6] 次回会議予定

平成21年度第1回理事会 5月29日(金) 13:30～15:00

以上につき理事会了承。

II 議題

◆第1号議案：平成21年度予算(案)について

事務局長が21年度予算について説明、一般会計については収支差額が190万円程度あり尚いっそう圧縮する必要がある、事務局と正副理事長及び総務で調整することとした。特別会計は収支差額0円で問題なし。

◆第2号議案：本部組織改訂及び人事について

公益法人制度改革委員会の新設及び特別事業委員会(日本たばこ産業助成金事業)の新設と特別事業委員会担当理事に村口理事を当てる、ただ村口理事より広報委員会担当をはずしてほしいとの要望があり、後で正副理事長と村口理事で調整することとした。

◆第3号議案：後援・協賛名義の件(4件)

『インテリアライフスタイル』…………… 後援・継続

『リジェネレーション・建築再生展』…………… 後援・継続

『ファシリティマネージャー資格試験実力養成講座』

…………… 後援・継続

『第68回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2009』

…………… 後援・継続

◆第4号議案：会員入退会の件(18件)

●賛助会員 入会(2件)

社団法人商業施設技術者・団体連合会(関東)

推薦人: 峰尾 武

株式会社ガウディ(関東) 推薦人: 事務局

●正会員 退会(10件)

0247 中川 帛子(関東) 0162 田辺 麗子(関東)

1087 土橋 隆子(関東) 1178 福岡 育子(関西)

1120 加藤 淳子(関西) 1265 高橋 慶(中部)

0253 森本 敏弘(関西) 0903 立原 俊郎(関東)

1280 菅原 知(関東) 1223 早乙女 明子(関東)

●賛助会員 退会(3件)

3162 株式会社丸光商店(関東)

3184 セラトレーディング株式会社(関東) 3184

3204 株式会社大富(関西)

●名誉会員推挙の件(3件)

0247 中川帛子(関東) 39年5ヶ月在籍

0162 田辺麗子(関東) 44年1ヶ月在籍

0253 森本敏弘(関西) 39年5ヶ月在籍

◆第5号議案 議事録署名人選任の件

小野由記子理事、佐藤健一理事を選出。

以上につき理事会承認。

理事会報告

平成21年度 第1回理事会

日時：平成21年5月29日(金) 13:30～15:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

本部事務局隣 OZONE 会議室

出席：理事長 酒井 正人

副理事長 阪井 良種、清家 淳一

理事 安藤 清、安藤 眞吾、小野 由記子、
川崎 泰秀、佐藤 健一、中田 重克、
村口 峯子、(欠席)長岡 貞夫

監事 川上 信二、(欠席)宇賀 敏夫

顧問 (欠席)川上 玲子

事務局長 峰尾 武

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- [2] エコ基金について
- [3] 財務運営資金繰り(4月末)
- [4] 次回会議予定
- [5] 正会員退会者の扱いについて

II 議題

- 第1号議案 平成20年度決算(案)承認の件
- 第2号議案 平成21年度予算(案)承認の件
- 第3号議案 JID功労賞表彰規約承認の件
- 第4号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第5号議案 会員入退会承認の件
- 第6号議案 議事録署名人名選任の件

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

4月27日、運営委員会開催、総会資料について事務局長より予算等について説明あり、総会司会等決定、公益法人制度改革・特別委員会は総会にて設置を決定する。

- 1. 総務・組織委員会
支部活性化「呼び掛け集会」実施時期・方法未決定、(プロジェクトメンバーバンク再構築は運営委員会で検討を希望)「トレンドセミナー」に代わる(仮称)コラボレーションセミナー等企画。
- 2. 事業委員会
下町プロジェクト具体的内容検討とJT社会貢献事業は本部事業、NPOキッズデザイン賞は一次審査通過で今後資料作成を行う。
- 3. 広報委員会
ホームページ更新、賛助会員ページの作成、トップページ改定準備。
- 4. 国際・交流委員会
デザイナーと職人交流企画、下町プロジェクトとの連動検討及びポルトガル文化庁インターシップ受入要請を本部国際と連動。国際は本部と合同ミーティング有、次回はポルトガル文化庁インターシップ受入要請検討。
- 5. 研究委員会
研究テーマ：激動の今「デザイン」について皆で考える、を検討。
- 6. からだとこころのデザイン委員会
翻訳本出版、シンポジウム開催予定で協賛企業を募集。

◆中部事業支部(安藤清)

- 1. 4月13日 4月度役員会・連絡会(総会中部HP有料プログへ)。
- 2. 4月27日 中部インテリア連絡会第4回リレーセミナー(中国建築・インテリアの現況他)。
- 3. 5月11日 5月度役員会・連絡会(中部会員作品発表)。
- 4. 5月14日 第24回中部インテリアデザイン連絡会(木造植田東小学校校舎研修他)。
- 5. 5月16・17日 CCDO(中部デザイン団体協議会)研修旅行

(佐川美術館他)。

- 6. 5月23日 JID中部事業支部総会。

今後の予定

- 1. 6月8日 6月度役員会・連絡会。
- 2. 7月4日 CCDO(中部デザイン団体協議会総会)。
- 3. 7月13日 7月度役員会・連絡会。
- 4. 7月23日 第25回中部インテリアデザイン連絡会。

◆関西事業支部(安藤真吾)

- 1. 総務・広報委員会
3月30日(月) 臨時運営委員会開催21年度支部活動及び支部総会について検討。
4月27日(金)「公益法人制度改革」に伴う特別委員会開催及び21年度第1回支部運営委員会開催、支部総会6月4日予定について。
- 2. 国際委員会
4月27日(金) 支部運営委員会にてオーレ・アンダソン氏来日対応について協議。
- 3. 研究委員会
5月15日(金)「セカンドライフの住まい」提案展覧会(仮称)具体化に向けての検討。

4. JID-ACT kansai

- 4月7日(火) 定例会議開催。5月16日(土) 21年度総会開催。
- 今後の予定

- 1. 総務・広報委員会
6月6日(土) 21年度支部総会・見学会(重森三玲庭園美術館)総会(がんこ高瀬川二条苑)。
- 2. 国際委員会
オーレ・アンダソン来日対応について詳細協議予定。
- 3. 研究委員会・事業委員会
「セカンドライフの住まい」提案展覧会(仮称)に向けて協力。

5. JID-ACT kansai

- 6月9日(火) 定例会議開催予定。

◆九州事業支部(川崎)

- 1. 4月14日(土) 第1回役員会開催、「公益法人制度改革」特別委員会の設置、委員長の選出及び支部総会日程検討。
- 2. 5月16日(土) 支部総会開催、カリモク「ドマーニ」ショールーム。平成20年度報告及び決算、21年度計画及び予算承認その他「公益法人制度改革」特別委員会設置と福岡デザインリーグ法人参加について検討。

今後の予定

- 1. 7月下旬、第2回役員会及び例会開催予定。

◆本部総務委員会(中田、佐藤、川崎)

委員会開催、4月6日、4月21日、5月11日、5月19日

- 1. 第41回通常総会懇親会の開催。
- 2. 編集会議4回実施、JIDリーフレット改訂版の構成レイアウト等検討、2000部印刷予定。
- 3. ビジネスパートナーズ充実・強化プロジェクトとして広げよう賛助会員の輪を継続。
- 4. 6月末よりベネフィット・ステーション新規入会案内と募集を行う。

◆本部国際委員会(小野)

1. 2009 IFI 総会開催の対応を検討、シンガポールが開催をキャンセル、UAE ドバイで行うこととなり、大森国際委員長及び森副委員長を派遣予定。尚、支部代表1名の参加を希望。
2. 4月23日 委員会を開催、新任の委員に水澤氏及び佐藤氏と退任委員の中川名誉会員の報告を行う。

今後の予定

1. 委員会を7月予定、IFI 総会出席の検討と準備及び留学生を対象としたワークショップ開催検討を行う予定。

◆本部広報委員会 インターネット

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. 3月30日「JID50」の Web アーカイブを pdf データに変換 CD-R 資料として事務局に保管。

今後の予定

1. JAGDA(日本グラフィックデザイナー協会)のイントラネットとの提携について検討(継続)。
2. 英文ページの内容充実(継続)。
3. 支部ページとの連携推進(継続)。
4. 本部メールサーバーのメンテナンス業務について検討(継続)。

◆本部広報委員会 JID News

(安藤眞吾、村口、安藤清、川崎)

1. JID News 244号原稿収集製作中。

今後の予定

1. JID News 245号制作スケジュール
7月31日(金) エントリーお知らせ、8月4日(火) 編集企画会議、
8月14日(金) エントリー締切り、8月28日(金) 原稿締切り、
9月15日(火) 編集校正会議、9月末発行予定。

◆選考委員会(長岡欠席、文書にて)

1. 2010 JID 賞ビエンナーレ応募要項を3月配布、JID のHP、JDN のHPコンペ情報欄の掲載、その他デザイン紙でPR、受付5月1日～6月30日、今後7月に委員会開催審査スケジュールその他について検討予定。

◆特別事業委員会(村口)

1. 4月17日(金) 第1回委員会開催、21年度本部特別事業として活動、総会終了後正式委員会発足と委員の公募を行い、助成金申請時の計画内容に準じて進める。
2. 5月15日(金) 第2回委員会開催、外部向け配布資料作成、小野上委員を中心にアフタースクールにも協力依頼。
3. 5月18日(月) 日本たばこ産業株式会社(JT) 東京支店会議室での助成金交付式に出席(酒井理事長、富田委員長、峰尾事務局長)、JT 東京支店長から助成金交付の説明があり助成金交付書の授与を受ける。その後事業内容を富田委員長より説明と懇談があり終了。

◆公益法人制度改革委員会(全理事)

公益法人制度改革委員会が発足、酒井理事長よりD-8の動向と現在公益認可の団体等について資料で説明、尚、今後情報を集め検討を重ねることとした。

[2] エコ基金について

エコ基金に関しては21年度に有力な提供先(木に関する)を検討実施することとし、理事長より1件の提案があり今後検討することとした。

[3] 財務運営資金繰り

本部21年4月末の状況について事務局長より説明。

[4] 次回会議予定

平成21年度第2回理事会 7月31日(金) 13:30～16:30

[5] 正会員退会者(定款第8条2項4該当)の扱いについて定款第8条2項4該当の退会者に対して厳正に対処し、本人の業績等に関して協会は原則として公表しない。又、展覧会や出版でその業績等を取り扱う場合は、慎重に検討する。

以上につき理事会了承。

II 議題

◆第1号議案：平成20年度一般会計決算(案)及び特別会計決算(案)承認の件

事務局長が一般会計及び特別会計決算について説明。

◆第2号議案：平成21年度一般会計予算(案)及び特別会計予算(案)承認の件

事務局長が一般会計及び特別会計予算について説明。

◆第3号議案：JID功労賞表彰規約承認の件

総務担当中田理事より説明。

◆第4号議案：後援・協賛名義承認の件(4件)

『日経住まいのリフォーム博2009』…………… 協賛・継続
『第6回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2009』… 協賛・継続
『第42回大阪インターナショナル・ギフト・ショー秋2009』…………… 協賛・継続
『北欧の生活デザインと文化』…………… 後援・新規

◆第5号議案：会員入退会承認の件(12件)

●正会員 入会(3件)

吉原 哲也(関西) 推薦人:清家淳一・安藤眞吾
梁本 泰樹(関西) 推薦人:清家淳一・安藤眞吾
酒井 浩司(関西) 推薦人:清家淳一・安藤眞吾

●正会員 退会(9件)

1213 土屋 正夫(関東) 1082 高橋 三太郎(関東)
0594 見城 美子(関東) 1034 三輪 英生(関東)
1227 松浦 千代美(関東) 1256 荒井 資郎(関東)
1254 中嶋 泉(関東) 0595 高橋 啓子(中部)
0511 渋谷 章(関西)

年間会員異動状況(平成21年度第1回理事会)について事務局長より説明。

◆第6号議案：議事録署名人選任の件

川崎泰秀理事、村口峯子理事を選出。

以上につき理事会承認。

理事長
酒井 正人

50年半世紀が一つの節目と考えますと、まさに51年目のJIDは、新たなステージへむけて本格的にスタートしたわけですが、今年度は、昨年度から継続してきた「これからのJID」を考える大切な1年になると思います。さっそく新たな可能性をもった事業もスタートしています。たとえば、子供達へのインテリアデザイン教育に関する事業や、医療や福祉施設、高齢化社会へのインテリアデザインの可能性について研究する事業など、JIDが社会に対し貢献できる新たな活動への取り組みが始まっています。

このコラムVol.1でも書いたのですが、私は、JID会員の一人一人が、デザインの手法で社会の課題を解決する「社会起業家」としての資質があると考えています。そして、JID組織として集結することにより、社会へ強い効果と影響を与える「社会貢献活動」が多々実現で

きると思います。職能団体としてのJIDが「社会に対しどのように貢献し影響をあたえることができるのか」ということは、今回の公益法人制度改革への対応以前にJIDの未来を考えたときに、基本となる大切な姿勢の一つだと思います。

現在理事会では、公益法人制度改革への対応を最優先課題として取り組んでおります。今まで公益法人として活動してきた実績を基に、この法改正により、「公益社団法人」か「一般社団法人」という法人格の選択のみならず、今後JIDがどのような組織を目指すのか？インテリアデザイナーの職能団体としてこれからは何が必要なのか？そして、JIDの未来のために次世代の人達に魅力を感じてもらい活動できる組織とはどういう姿なのか？これらのことに視点を置き、「これからのJID」にふさわしい、公益法人制度改革への対応を決めたいと思います。

この問題はJID全会員の意見や考えを集約し決定したいと考えておりますので、最新情報は随時お知らせし、皆様のご協力をぜひお願い致します。

このコラムについてご意見やご感想などぜひお聞かせ下さい。head@jid.or.jp

本部 報告

総務委員会

担当理事：中田 重克
委員長：井出 昭子

第41回通常総会・懇親会の報告

本部総務委員 安竹 麻智

平成21年5月29日(金)第41回通常総会・第16回関東事業支部総会終了後の6時45分より、新宿パークタワー8F「クラブスクエア」において懇親会が開催されました。

開催に先立ち酒井正人理事長より総会が無事終了したとの報告の後、理事長挨拶があり51年目を本格的にスタートするにあたり、JIDが社会に貢献できる新たな事業への取り組みが始まっていること、JIDの未来のために次世代の人達に魅力を感じてもらい活動できる組織とはどういう姿なのか、これらの事に視点を置き、JIDにふさわしい公益法人制度改革への対応を決めたいとの考え方などの挨拶がありました。

来賓代表として社団法人日本インダストリアルデザイナー協会理事長浅香喬様よりご祝辞を賜り、株式会社リビ



酒井理事長の挨拶



ングデザインセンター代表取締役若宮直行様のご発声によって和やかな懇親会がスタートいたしました。

その後、日頃JIDの運営にパートナーとしてご協力頂いています賛助会員、新しく入会されました新賛助会員の紹介、各委員会のイベント紹介など、会員相互の近況報告等を交えて懇親を深め、最後に阪井良種副理事長の閉会挨拶を持って幕を閉じました。

ご多忙の中、今回の懇親会には来賓の方を含め、61名のご参加を頂き誠に有り難うございました。

あらためて御礼申しあげます。

本部報告

選考委員会

担当理事：長岡 貞夫
委員長：木村 戦太郎

JID賞へのご支援ご協力を、 宜しくお願いします。

選考委員会 委員長 木村 戦太郎

既にJID賞の応募要項が皆様のお手元に届いていると思いますが、応募要項のデザインをどう感じましたか？今回の応募要項は、グラフィックデザイナー上條喬久氏にお願いしたもので、氏の拘りが随所に込められています。ポスター面は、空間を表現するためキャンバス地で立体を作り数字を刻み、それを用いてJID AWARD BIENNIAL 2010をロゴの様に表現しています。裏面の応募要項も明快にデザインされ、四つ折りを意識して画像と折り目の重なりを避けています。さらに、DMを受け取る側の視点から、クリア封筒の外側から主要情報が読み取れ、画像や文字情報が美しく見える様に配慮されています。DMの洪水の中でも拾い上げられ、読んでもらえる情報にしたいと、考えたからです。美しく印象的なポスターが出来ましたので、効果的な場所にご掲示頂くなど、周知についてのご協力をお願いします。そして、正会員・賛助会員の皆さんには、奮ってご応募頂きたいと思ひますし、さらに、周囲の方々への呼び掛けやご推薦など、ご支援ご協力のほど、宜しくお願いします。

JID賞の応募者数は、ビエンナーレ方式に変更して以来順調に数を伸ばして来ましたが、昨今の経済不況もあり安心は出来ません。今回も従来同様の成果を上げるためには、会員の皆様のご協力ご支援が不可欠です。



尚、今回の特別審査員は以下の3氏です。
下川一哉氏 日経BP社 日経デザイン誌 編集長
原 研哉氏 グラフィックデザイナー(予定)
酒井正人氏 JID理事長・インテリアデザイナー

そしてJID賞の今後の日程は
5月～6月 応募受付
7月～8月 一次審査(書類選考)
8月～9月 二次審査(現地・現物調査)
10月末頃 最終審査
2010年1月 贈賞式

となっています。
以上、2010年JID賞ビエンナーレについてのご報告と、
お願いでした。

本部報告

国際委員会

担当理事：小野 由記子
委員長：大森 清次郎

“IFI General Assembly and World Design Congress 2009 in Dubai”

本部国際委員会 委員長 大森 清次郎

IFI(International Federation of Interior Architects /Designers)の総会とデザインコンGRESSが2009年秋にアラブ首長国連邦(UAE)のドバイ市で開催されます。テーマは“Celebrate Design.”総会は11月9・10日、続けてデザインコンGRESSが11・12日に開催されます。

JID国際委員会ではこの総会に3名の代表派遣をする予定で、理事会の承認を得、準備をすすめています。デザインコンGRESSは、世界のインテリアデザインの潮流に触れることができる良い機会です。また、IFI総会についても、オブザーバーという立場で参加することが可能です。JID会員の皆様方の積極的な参加のご検討をおすすめします。

デザインコンGRESSのプログラムなどの詳細が決定され次第、Newsとして発信させていただきます。

IFI活動の内容は www.ifiworld.org をご覧ください。

関西事業支部 太良 隆宏

「公益法人改革について」

公益法人としての認定が難しいのなら特別こだわる必要性を感じません。

公益法人であるため、事務作業が煩雑になり協会としての自由度が奪われるのであればより活動しやすい組織体である必要を感じます。

ただ最近世間の公益法人に対する厳しい目は意識しないといけないと思います。

JID が考える公益性と世間が考える公益性にずれがないか、そして協会自体に活動のチェック機能や正しい評価軸があるかが求められていると思います。

関東事業支部 小久保 典子

「JIDってどんなトコロ？」

昨年 12 月に新会員になりました小久保典子と申します。ビジターで参加させていただいた 50 周年イベントで JID の歴史に触れ、はしくれで若輩の私にも歴史を繋ぐ何か貢献できることがあれば…と入会を決意した次第です。まずは自己紹介を兼ねて最近のマイブームをお話してみたいと思います。

寄る年波をひしひしと感じていた一昨年、エージング対策に一念発起してジョギングから始め、高じて昨年マラソンの大会に出場する様になりました。

JOG を始めて良かった事、まずはゼイハハと心肺機能が鍛えられ、細胞が活性化…朝ラン派の私ですが、朝から細胞がイキイキとヤル気 UP、意外にも夜まで疲れにくくなりニコニコ。さらに代謝機能が UP したので食べても太りにくくなりニコニコ。必要な食べ物を身体が希求するようになりました。思いがけない GIFT は、朝型生活と RUN を通じて知り合う仲間達でした—老若男女知り合うきっかけのない人達と知り合え、趣味を通じて通じ合う仲間の爽やかさを享受しています。

大会では、ゴールまでつい歩きたくなる弱い自分との戦いです。年初に初ハーフ、山中湖で 4 回目のハーフを走り、秋にはフルマラソンデビューを予定しています。プライベートも仕事も年齢に関係なく challenging に「人生の食いしん坊」でいたいと思っています。

さて仕事は、フリーの IC として研鑽を積んで 11 年、4 年前ある事業オーナーから指名いただき、インテリアプランナーとして設計事務所とコラボしました。大型案件＋インテリア領域の拡大に細胞が活性化し、それはそれは…苦しい楽しいマラソンの様な LONG RUN でしたが、設計事務所ともいい関係を築けゴールできました。

私の MISSION として「インテリアの楽しさを伝えること」をこれからしていきたいと思っています。似たようなインテリアの流行は時代を映す鏡と思ひ否定しませんが、暮らしの場としてのインテリアはもっと多様で、個人の趣味を色濃く反映して楽しく心豊かで大らかで、どこかマヌケな部分があったりしてホッとするものだと思います。「インテリアの楽しさを伝えるにはどうしたら？」と自問する中、一人の力では出来ないことも先輩達の教えを乞い、地道に一步步進んでいくことで道が開けるのではと期待しています。マラソンがそうであったように…。

JID では、フリーの立場で仕事をしていらっしゃる先輩方のお話を聞き、参考に学びたいです。仕事を得るきっかけづくりや情報収集のしかた、プレゼンテーションの手法等々。また私の事を知っていただくチャンスの中でありネットワークキングのチャンスでもあると思っています。企業や事業者の方から見たら、JID に加入している事で信頼 UP に繋がるのではと期待を寄せています。

このような期待感の中、私に出来ることは何なのか…？色々な会合に出席していますが、ACTION を起こせずにいます。WHY…？情報が足りなく思うのは私だけでしょうか？心意気はあっても、具体的に何をしたら良いか分からないのが実状です。H21 年度の事業案などを資料で見ながら「キッカケ」を掴めずにいますので、ぜひお声をかけていただけたらと思います。

これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

関東事業支部 水澤 結花

「JID入会! そして…今後の抱負」

私は昨年まで金沢市に在住。約 15 年間、デザイン専門学校でインテリアデザイン科常勤講師として多くの学生達と共に学んできました。そして鎌倉市に転居してきたことを機に、大学時代の恩師であり、JID 旧理事の尾上孝一先生よりインテリア関連書籍の執筆活動と共に、JID への入会を勧められ、昨年末新会員として入会をさせていただきました。

私は旅が大好きです。特に海外の旅先で偶然出逢った人達との心温まるふれあいは、思い出深い 1 枚の写真と共に、私のかけがえのない財産となっています。今後の抱負としては、今までの経験を JID における国際交流活動に活かすことができたらと思っています。また、若い世代の人達との交流活動にも積極的に参加したいと思っています。そして何より、会員の皆さまといっしょに楽しみながら JID 活動を盛り上げていけたら!と思っています。今後共、どうぞよろしくお願い申し上げます!!!

第16回 関東事業支部総会報告

関東事業支部 担当理事 村口 峯子

新生関東事業支部の息吹を感じる総会

5月29日(金)関東事業支部総会が開催されました。正会員42名、委任状92名、合計134名。議長は副支部長石川尚さん、司会は池田和修さん、書記は井出昭子さん、議事録署名人に菅野民子さん、萩原多恵子さんを選出。20年度決算案、21年度収支予算案が承認されました。新委員会として「からだところのケアデザイン委員会」および「JID 公益法人制度改革・特別委員会」の設置を承認。質疑応答では関東事業支部国際委員会と本部国際委員会との事業のあり方について、率直な意見交換が行われました。

通常総会の時間延長のため関東事業支部総会は時間が短くはなりましたが、質問者、回答者相互の活発な意見交換が行われ、今後のJIDのあり方を示唆するような光景も見られました。

創立50周年記念事業も終わり、今年度はJIDとしての今後の課題も多く、一つにはJID 公益法人制度改革、一つには会員の減少対策などがあげられます。また、発展的な活動として新設の研究会もあります。別項の「からだところのケアデザイン委員会」活動をはじめ、創立50周年事業こどもの学校から発展した「こどもインテリア学校委員会」は、JID 助成金を獲得した本部特別委員会ですが、多くの会員の参加によって社会に発信できる機会となります。JID のなかで関東事業支部としての関わりも含めて、重要な年度となる今期のスタートを強く感じる総会でした。

関東事業支部広報委員会 2009年度 活動方針

関東事業支部 広報委員会 副委員長 櫻井 良樹

本年度広報委員会の活動は、関東事業支部ホームページの運営管理・対外広報プレスリリース・JID News等を主な事業としております。

ホームページに於いては、正会員・賛助会員をはじめ一般の方が興味を持って頂ける内容を心掛け、賛助会員企業と連携しインテリア情報発信源としての役割など、コンテンツの追加・拡充を進めてまいります。昨年皆様

に登録して頂いた会員ページの更新を年三回予定し、常に新しい情報を掲載してまいります。

対外広報では、外部メディア等との繋がりを深め、プレスリリースを作成。公益性の高い事業は担当委員会からの情報や報告を基にプレスリリースを行い、事業への参加募集やJIDの認知度を高める活動としてまいります。

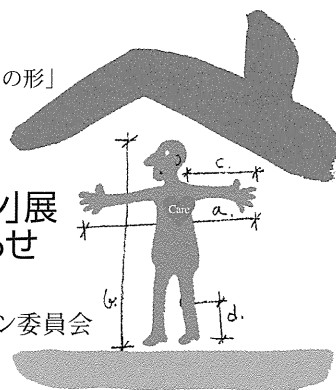
デザインは「ケア・こころづかいの形」

「ケア発想デザイン」展 11月開催のお知らせ

関東事業支部

からだところのケアデザイン委員会

小野 由記子



事の始まりは一冊の本「Rooms for Care」にあります。これはスウェーデンの建築家デザイナー、オーレ・アンダソン氏が、からだところのケアをめざす空間を作るうえでの考え方やノウハウを、明快に書き下ろしたものです。日本でもクオリティ・オブ・ライフについて認識が高まり、福祉、医療空間の質も住宅同様そのデザインの質を問われる時代になりつつあります。

ケアの行き届いた安全で心地良い暮らしの場をつくるのにデザインが貢献することは少なくありません。デザインを「ケア・こころづかいの形」ととらえ、その力で人々の丁寧な暮らしをサポートしてゆくことはデザイナー、関連企業のミッションでもあります。人が中心のケアの実現に向けて、デザインが出来ることを探ります。

「ケア発想デザイン」展

日時：2009年11月19日(木)～24日(火)

場所：新宿OZONE 3F プラザ

●『Rooms for Care』2009年版 発売

●展示会「ケアを支えるデザイン」展

つえあらかると、つえの面白デザインなど

●シンポジウム 11月19日 13:30～

1部「スウェーデン、ケアデザインの今」オーレ・アンダソン

2部「今なぜ ケア発想デザインなのか？」識者数名

* 詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

平成21年度 中部事業支部総会報告

中部事業支部 杉崎 晃久

平成21年5月23日、三重県多気町「旧油田邸」にて中部事業支部総会が開かれ、会員からはJIDをどのように魅力ある協会にしていこうかと議論がかわされました。今回の総会は中部会員の三重県在住の北出さんに企画していただき、名古屋から朝8時出発のJR特急ワイドビュー南紀1号で約1時間10分でJR多気駅に到着。



午前中は丹生大師の里の散策にはじまり「旧油田邸」（かつての造り酒屋跡で明治時代の木造建物）昼は話題の高校生レストラン「まごの店」で昼食、その後、相可高校村林先生（元調理師学校先生）から学校教育・行政とのつながり・苦労話など興味深いお話を聞かせて頂きました。午後には長谷の車田・近長谷寺（国宝重要文化財指定）・金剛座寺の見学で十一面観音像をはじめ社寺・仏像のいにしへの過去に触れ、夜、最後は北出氏設計のおしゃれな竹屋牛肉店で夕食、本場松坂牛をお腹一杯堪能しました。



丹生大師の里
旧油田邸での総会
下は竹屋牛肉店



今回の三重総会は多気町の歴史・文化・自然・行政・町民の前向きな努力が感じられる有意義な時間を過ごすことができました。北出さんありがとうございました。



「中国建築・インテリアの現況 ― 身近で遠かなる中国建築行脚」と題し、名古屋出身で日本の大手設計事務所に永く在籍後独立、2002年に上海に設計事務所を開設し大活躍中の大島弘資氏を招きお話をうかがった。大島氏はこの7年間、中国で各省や各都市主催の国際指名設計コンペに参加し、そのうち5回も第1位を獲得し、その多くの作品が中国内の各種建築作品賞や建築学会創作賞などを受賞されている。セミナーでは上海や北京の社会事情、経済事情、建築事情の

中部インテリアデザイン連絡会 第4回 リレーセミナー報告

2009年4月27日

中部事業支部 支部長 小宮 三辰

「今」をパワーポイントを使い、色々な映像資料をもとに分かりやすく解説され、短時間のうちに大変楽しく中国の現状を理解することが出来た。また大島氏の設計活動の一端を多くの資料を屈指し紹介していただき、大島氏の設計思想、設計手法、設計表現を丁寧に解説していただき大島氏の作風をよく理解することが出来ました。特に「内モンゴル大劇場・博物館」は8万3千㎡もの広大なスケールの作品で圧巻かつ繊細、さすが日本人の感性と感服し非常に有意義なセミナーであったことを報告いたします。

関西事業支部 21年度総会を終えて

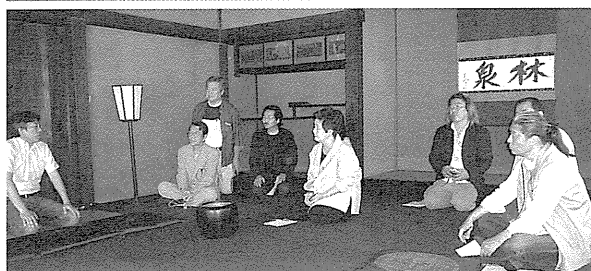
関西事業支部 足永 和子

(社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部の21年度総会が6月6日、無事終了いたしました。

初めて京都で行われた総会・交流会は高瀬川源流庭苑の「がんこ二条苑」を会場に、関係各団体代表の方々にも多数ご参加頂き、また新入会員2名を加えて、大変和気あいあいとした会になりました。

半世紀にわたるJID活動の節目で、51年目となる今年度は、大切な時期と思われます。諸先輩の築き上げられたこのJIDにさらなる新しい風を吹き込み、益々の発展に向けて共に力を尽くす時です。

関西を代表するインテリアデザイナー組織として、社会の為に貢献をし、又、会員にとっても魅力ある組織となつてほしいと願います。微力ながら私も、お手伝いをしていきたいと思っております。



イベントとして、総会前の午後のひととき、吉永小百合出演のAQUOSのCMでも有名になった重森三玲庭園美術館を見学しました。

昭和の名作庭家、重森三玲旧宅の枯山水の庭、茶室(好刻庵)、書院に加え、会員の多羅尾氏のご尽力で、改修された自宅母屋も解説付きで見せて頂けたのは、大変幸運な事でした。

重森三玲は庭園だけでなく、建築の設計も行い、双方の空間を三玲ワールドで埋め尽くしています。日本画、生け花、茶道などの日本の芸術を学び、古庭園を調査研究し、古いものにも時代を超えたモダン(新しさ)がある事を知ります。これを「永遠のモダン」と称し、創作の基本としたといわれています。母屋の改修は、古い建物ゆえに、実際携われた多羅尾氏ならではの苦労談などは、興味深い内容でした。



九州事業支部総会・懇親会開催

九州事業支部 担当理事 川崎 泰秀

博多どんたくも終え、山笠の時期を迎える博多の街で、去る5月23日(土)の午後、酒井理事長を迎えて、今年度支部総会と懇親会を行いました。例年より開催が早まったことで告知から当日までの時間的余裕が無く、参加者が少なく残念ではありました。

以下のご報告は、昨年度の大きな柱であった50周年記念事業をメインに筆を進めます。



理事長を囲んで

総会会場は福岡天神の旧県庁跡地の前、福岡市役所通りの突き当たりという一等地に立地する、カリモク・ドマーニショールーム内の一隅を特別に使用させていただき、菅原事務局長の司会のもとに、飯田支部長の開会挨拶で始まり、江島国際・交流委員長を議長として議事審議に入りました。

20年度支部事業の主事業のひとつは、昨年8月16日から9月28日まで熊本県立伝統工芸館に於いて、50周年記念事業の一環として開催した、「新しい和の暮らし」展でした。内容は熊本南部、生産量日本一を誇る千丁町特産のいぐさ。その中でも特に意欲的な取り組みから生まれた、無農薬いぐさを活用したオーガニック住宅、賛助会員である添島勲商店のいぐさを現代空間に生かす新たな商品展開。海外メーカーが和の文様をモチーフとしてデザインし、日本にアプローチしているファブリック類。そして九州会員の和のこころを表す作品群と、会員の仕事の現場で貴重かつ異色の存在感を示し続けているインテリア素材関連会社の作品や商品。

山鹿市の特産和紙を活用した会員オリジナルの団扇展。国際箸文化研究所とのコラボと、アジアのお箸展示など多彩きわまる展開でした。

一方、参加各社の専門家による商品説明「ギャラリートーク」。さらにワークショップとして「マイ箸を作ろう」と「珪藻土左官体験」を企画。夏休み期間中でもあり、子供たちや母親をはじめ多数の人たちが参集し、いずれも定員オーバーの盛り上がりを見せました。

締めは9月20日。川上玲子創立50周年実行委員長の記念講演を中心に、ちりとてちんの福井県小浜市から駆けつけた老舗塗り箸会社社長、山鹿団扇作家らと交えて開催したパネルディスカッションは、その後の熊本城天守閣を絶好のアングルで望むホテルでの交流・懇親会と共に、極めて大きな成果であったと言えます。熊本の菅原会員、高濱会員、前崎会員に改めて深く感謝いたします。

もうひとつの記念事業「円座 in 九州」は、山永実行委員長を中心に、11月28・29日の両日、博多料亭「稚加栄」で25名の参加を得て開催しました。デザインに関する所感や職場経験等、出席者全員の発言と共に、美味にひたった和やかなひと時でした。これに先立ち、29日の午後には、九州産業大学付属美術館で開催中の山永会員の力作を含むウインザーチェア展を見学、岩倉榮利副実行委員長の講演会へと進行了。岩倉氏の軽妙洒脱な話術に、学生諸君たちが引き込まれたように聞き入っていたのが印象的で、所定の時間が短く感じられたほど楽しい講演会でした。

以上二つの記念事業の成果は、昨年度の実績として特筆されることと思っております。また、厳しい経済情勢のなか、当事業にご協力をいただいた賛助会員各位に、本欄を借りまして深く感謝を申し上げます。

その他、恒例の九州大(旧芸工大)・九産大・九州造形短大生による学生ファニチャーコンテスト等の事業と会計報告。21年度の事業計画案及び予算案を承認。本年度は創立50周年記念事業のひとつ「ドローイング展」を九州で開催しますが、少数会員でも可能な実効的活動を目指すことを申し合わせ、総会を閉じました。懇親会場は、小職が昨年10月に改装開店に関わった鮎と和の食「清吉」に場を移し、酒井理事長を囲んで、公益法人制度改革についての意見交換をはじめ、時間の経つのも忘れるほど盛り上がりました。今後の活動に向けて意義ある交流が出来たと感じております。

事務局からのお知らせ

◆正会員

会員番号0760 伊集院 俊 会員名簿・関東p.3
 ・勤務先住所 〒171-0014 東京都豊島区
 変更 池袋2-16-12 KBCビル4B
 Tel:03-6914-3863 / Fax:03-6914-3864

会員番号1272 井上 桂 会員名簿・関東p.3
 ・勤務先 変更 スタジオラ・ヴィータデザイン
 〒150-0011 東京都渋谷区東4-9-18-301
 Tel:03-5466-2298 / Fax:03-5466-3297

会員番号0341 大野美代子 会員名簿・関東p.4
 ・勤務先住所 〒151-0051 東京都渋谷区
 変更 千駄ヶ谷2-2-1 ビラ・カピア2F

会員番号0847 鎌田 博子 会員名簿・関東p.5
 ・E-mail 変更 k-dw@af.em-net.ne.jp

会員番号0295 山本 棟子 会員名簿・関東p.12
 ・E-mail 変更 neko.y@bf.wakwak.com

会員番号0762 安竹 麻智 会員名簿・関東p.12
 ・勤務先住所 〒182-0022
 E-mail 変更 東京都調布市国領町8-2-9-2-1209
 Tel:03-3430-6737
 mysp2-24@ac.bb-east.ne.jp

会員番号1067 中山 照雄 会員名簿・関西p.19
 ・勤務先住所 〒534-0024
 E-mail 変更 大阪市都島区東野田町1丁目16-19-302
 Tel:06-6354-5604 / Fax:06-6354-5624
 自宅：同上
 dsn_nakayama@mac.com

会員番号0387 藤尾 栄徳 会員名簿・九州p.22
 ・勤務先 変更 株式会社オーリック SD事業部
 Tel:092-731-0296 / Fax:092-752-1004
 〒810-0071
 福岡県福岡市中央区那の津5-8-6
 s-fujio@alliq.co.jp

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆賛助会員

会員番号3017 ICSカレッジオブアーツ 会員名簿・賛助p.24

・学校名訂正
 学校法人環境造形学園専門学校 ICSカレッジオブアーツ
 (旧 インテリアセンタースクール)

会員番号3157 柏木工株式会社Jホームスタイル東京 会員名簿・賛助p.24

・支店から本社へ変更
 柏木工株式会社Jホームスタイル東京 → 柏木工株式会社
 〒506-8585 岐阜県高山市上岡本町1-260
 Tel:0577-32-3150 / Fax:0577-34-7414
 E-mail : info@kashiwa.gr.jp
 担当者:代表取締役 関 道朗

会員番号3199 株式会社医療ネットワーク支援センター 会員名簿・賛助p.24

・住所変更
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-12-1-302
 Tel:03-6438-2852 / Fax:03-6438-2851

会員番号3055 大成建設株式会社 会員名簿・賛助p.25
 ・担当者変更 設計本部 2 郡インテリア担当 大野 博文

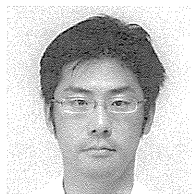
会員番号3197 コクヨオフィスシステム株式会社 会員名簿・賛助p.25
 ・担当者変更 企画部 太田 晴規

会員番号3080 TOTO株式会社 会員名簿・賛助p.26
 ・担当者変更 中溝 博之 → 伊庭 宏

会員番号3128 ヤマギワ株式会社 会員名簿・賛助p.27
 ・住所変更
 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-5-10

新会員 紹介 正会員

①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者 ④勤務先・事務所 ⑤自宅



①吉原 哲也
よしはら てつや

②1297(関西事業支部)
③清家 淳一・安藤 眞吾

④吉原デザイン事務所
〒561-0827 大阪府大阪市豊中市大黒町1-19-14
Tel:090-1905-0093/Fax:06-6332-3303
E-mail:tetsu-ya@ares.ecnet.ne.jp
⑤同上
Tel:06-6332-3303/Fax:06-6332-3303



①梁本 泰樹
やなもと やすき

②1298(関西事業支部)
③清家 淳一・安藤 眞吾

④Y・プランニング
〒550-0015 大阪市西区南堀江2-10-6 2F
Tel:06-6533-0421/Fax:06-6533-0423
E-mail:ypla@mub.biglobe.ne.jp
⑤〒544-0033 大阪市生野区勝山北1丁目6-6
Tel:06-6717-2658



①酒井 浩司
さかい こうじ

②1299(関西事業支部)
③清家 淳一・安藤 眞吾

④シエスタインターナショナルアソシエツ
一級建築士事務所
〒550-0013 大阪市西区新町1-27-15 西長堀ビル4F
Tel:06-6535-5213/Fax:06-6535-5213
E-mail:syakai@sia-furniture.com
⑤〒581-0034 大阪府八尾市弓削町南2-70
Tel:090-1481-0978/Fax:0729-48-0189

新会員 紹介 賛助会員

※賛助会員数63社(平成21年6月現在)

社団法人商業施設技術者・団体連合会

会員番号3211

〒08-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館
Tel:03-3453-8103/Fax:03-3453-8109
担当者:事務局 木下 貢二 専務理事
E-mail:info@jtocs.or.jp
推薦者:峰尾 武

株式会社ガウディ

会員番号3212

〒106-0031 東京都港区西麻布4-11-7-1B
Tel:03-3409-2601/Fax:03-3409-2602
担当者:代表取締役 早乙女 明子
E-mail:gaudi@gaudi-tokyo.co.jp
推薦者:峰尾 武

「近代家具」インタビュー記事へのお詫び

理事長 酒井 正人

「近代家具」2009年新春号38~40頁に、私、(社)日本インテリアデザイナー協会理事長・酒井正人の新春インタビューが掲載されました。しかしながら、私の記事原稿の確認不足により、40頁4段目24行目~29行目の文章において、私の真意とは異なる表現の文章がそのまま掲載される結果となりました。

JIDの歴代理事長の方々ならびに購読されました会員の皆様へ、たいへん不快な印象を抱かせる文章が掲載されたことを心よりお詫び申し上げます。今後このようなことがないように十分注意するとともに、今回の件で理事長経験者の方々から、いろいろと貴重なご教示をいただきましたことに感謝し、JIDのさらなる発展のため全力を尽くしてまいります所存でございます。

(なお、記事のコピーは別途同封致します)

JID news

企画・編集：本部広報委員会

JID News 担当理事 安藤真吾

JID News 委員長 八十常充

// 特別委員 清家淳一

// 委員 小宮容一

// 関東事業支部 石川尚

// 中部事業支部 杉崎晃久

// 関西事業支部 山本紗代子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

昨年度はJID 創立50周年の年として、年間を通じて行事がおこなわれ元気なJID を実感しました。その事は他協会からも注目を集めたところであります。

本年は年明けから「公益法人制度改革」が大きな課題として、今後 JID をどのような体制で運営するのか？ 会員全員がこの課題に取り組み、JID の方向付けを行うことになります。

5月29日に通常総会が行われました。前半の議案は異議無く順調に進行しましたが、後半は多数の意見や質問が出されている途中で会場の時間制限から中断を余儀なくされました。続きは別会場に移って行われましたが後に関東事業支部の総会を控えている中、慌しく終わりました。年に1度の大切な総会に十分な時間が欲しいものです。

前号から始めた「JIDの新たな門出に」は、新・会員がどのような思いを持って JID へ入会したのか…を51年目の節目に企画しました。

入会して「プレゼンの手法や経験談をお聞きして仕事に活かしたい」「自分の事を知っていただき、ネットワークのチャンスでも…」や「自分の経験を活動に活かしたい」「皆さまで一緒に楽しみながらJID 活動を盛り上げていけたら!」などの積極的な声も聞こえてきました。

これからの JID の活動に…支部活動にこの声を活かしたいものです。会員の「生」の声として続けたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

八十 常充

No.244

発行日：平成21年6月30日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所

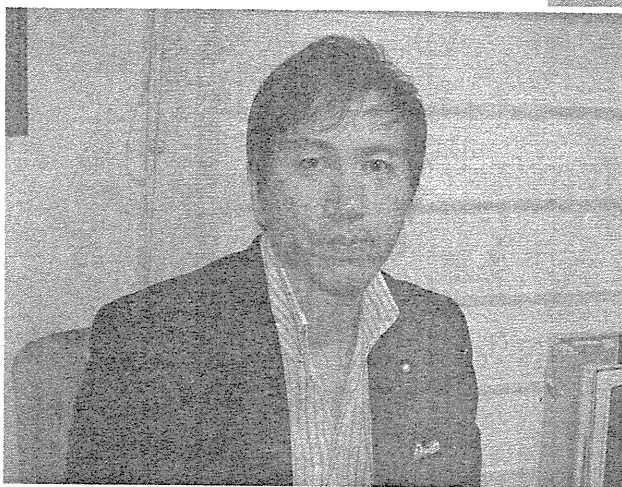
内側を整えることはあまりしません。そういう意味で、もつとインテリアは元氣を出さないといけないと思います。小売はメーカーなどと協力して、もつともつとお客さんに提案していくべきでしょう。

——この時勢の中、お客さんからのインテリア関係の注文はどのような状況ですか。

加藤 今まで通りのことをやっている、来場は減っていきますね。テーマを絞るとそこそこお集まりいただける。良いのか悪いのかわかりませんが、円高還元セールといったことをすると、もつと価格が下がるんじゃないかと思われたり、返って買い控えになったりする。

価格の低い物が売れているかという、そうではない。お客さんは賢い。賢いお客さんに相對することをしっかりとしないといけないのではないかな。そうすると、従業員が今までの発想でやってはいけけない。私がつくづく感じているのは、新しいものが登場することによって、今までやっていた商売がダメになる。これは致し方ないのかなと思います。従来のやり方をやっていたら厳しくなります。環境が新しくなっているのです。

公益法人制度改革に向け、プロ集団としての社会貢献を意識的に発信



(社)日本インテリアデザイナー協会 理事長
サカイデザインネットワーク有限会社 代表 酒井 正人氏

——前理事長の川上さんからバト
ンタッチされましたが、ご感想と
新理事長としての抱負をお聞かせ
ください。

酒井 昨年5月に総会があり、理
事長に就任しました。私は学生の
時からデザインを始めましたが、
現在46歳です。キャリアは23

24年になります。当協会は50年の歴史がありますから、私の経験の倍以上も前からあったことになりました。今から50年前、戦後ようやく日本の社会や経済の復興が終わり、これから発展していくという時期に、日本室内設計家協会の名で当協会は発足しました。室内デザイナーがこれから社会に必要なという意識が設立した方々の中にあり、生活環境を整えていく上でこの職業は必ず大きな役割を担うという前提で、協会ができたのだと思います。そのあたりの意識や考え方、職業観に関しては驚くことばかりです。現在われわれは当たり前のように仕事ができる環境になつていますが、当時はそうはいかなかったでしょう。そこを切り拓いてきた協会だという重みを、理事長に就任して感じました。

——会員数は現在どれくらいなのでしょう。

酒井 正会員350人と賛助会員（企業会員）が72社、さらに昔からの会員である名誉会員が約40名です。1995年頃がピークで、当時は正会員だけでも7000～8000人いましたが、他団体が設立され、そちらに移った人も多いようです。

協会に属さず活躍されている方も多数いますので、そうした方にも参加していただけるように声を掛けていますが、20〜35歳くらいの若い世代は、組織に属して仕事を広げていくという感覚があまりないようです。既にデザインをするフィールドがいくらでもありますし、情報もWEBなどを通して世界各地に瞬時に配布できます。そうした意味では、従来の職能団体の役割というものが少しずつ変わってきています。

協会は50年の歴史の中で大変多くのものを担ってきましたが、新たな考え方をしていかなければならないと思います。協会に属すと何かビジネスになるのか、メリットとデメリットだけで判断する人たちは相当数います。その価値観が昔とは変わってきているようです。

——団体へ所属することによる束縛もあるでしょうから、面倒と感じることもあるかもしれませんね。酒井 そうですね。しかし、いままで成長してきた企業が本来の営利ビジネスの他に、社会貢献活動を手がけるようになっていきます。無報酬の活動ですので、ボランティア

という意識が、環境問題や安心・安全の問題など、今までやってきたことをベースに様々な面の見直しや修正が必要だという姿勢を持った企業は多いです。当協会も同じです。理念や意識の同じ人が集まり、インテリアデザイナーの職能が社会に果たす役割を説明していこうという思いが根本にあります。一步先に進んで社会の役に立つ活動をしていかなければ、存在意義がだんだん薄まっていくという状況があります。

公益法人の制度改革が始まり、公益事業を手がけていない社団法人は淘汰されていきます。社会に対してどのような役割を果たしているかを明確にしないといけません。われわれは会費で運営している団体ですから、勉強会や研修会、会員の作品を集めた展覧会など、会員のためだけに行うことが多くあります。それらは一般の社会に対して開かれているかという疑問です。そこで意識して今後の活動を考えていかなければなりません。プロのインテリアデザイナー集団が社会に貢献していることを、意識して発信していかないと、社会にとって必要な団体かどうか

を厳しく指摘されます。

——50周年の記念事業はどのようなことがありましたか。

酒井 「原点」心のデザイン」を創立50周年事業のテーマに、創設時のデザイナーの方々が制作に使用したスケッチやデッサンなどを展示した、ハンドドローイング展を開催しました。当時はコンピュータなどなく、図面をひくというアナログ的作業がデザインの基本です。学生やデザインに興味のある方まで、大勢の方にご来場をいただきました。デザインを自分の手で作っていく大切さを、皆さん改めて認識できたのではないかと思います。

展覧会に合わせて「日本デザイン50年」を発刊しました。当会の本は、これまでまじめな資料的なものが多かったのですが、今回は50年を振り返るとともに、これらの50年を意識して若い世代が中心になって編集しました。書店で売れるような本にしようという狙いがあり、マーケティングを行い、30代女性と50代男性を意識して、デザインに興味のある方が買いたくなるようなムック本的な雑誌を、もう少し内容を濃くしたものを作

りました。

そして、今年3月まで継続している車座ツアーがあります。有名な家具の工場などをインテリア産業の拠点として訪問し、地場の企業やデザイナー、大学で研究している方などが集まり、デザインの原点についてシンポジウムを開いています。語り合う場をつくり、各地方で交流するイベントです。お祭りのように一度で終わりではなく、地道に活動していきます。普段は東京中心の活動が多いですが、会員は全国にいますので地方での活動も盛り上げていきたいと思っています。

——環境問題について具体的にはどのようにお考えですか。

酒井 当協会も10年ほど前から環境に関する調査や本の出版を行い、地道に取組んできましたが、なかなか社会の中で大きな動きにはなりません。しかしその際に蓄積した資料を活かして発信するなど、それをテーマに今後は活動していこうと考えています。

デザイナーの仕事は、家具や照明を含めいろいろな内装材を扱います。一つひとつの材料や素材がエコを意識して作られているかど

うか、本当にそれが環境や健康に有効なのか。判断・評価できる材料を発信していくことも検討しています。

—— オフィス家具業界に対して要望はありますか。

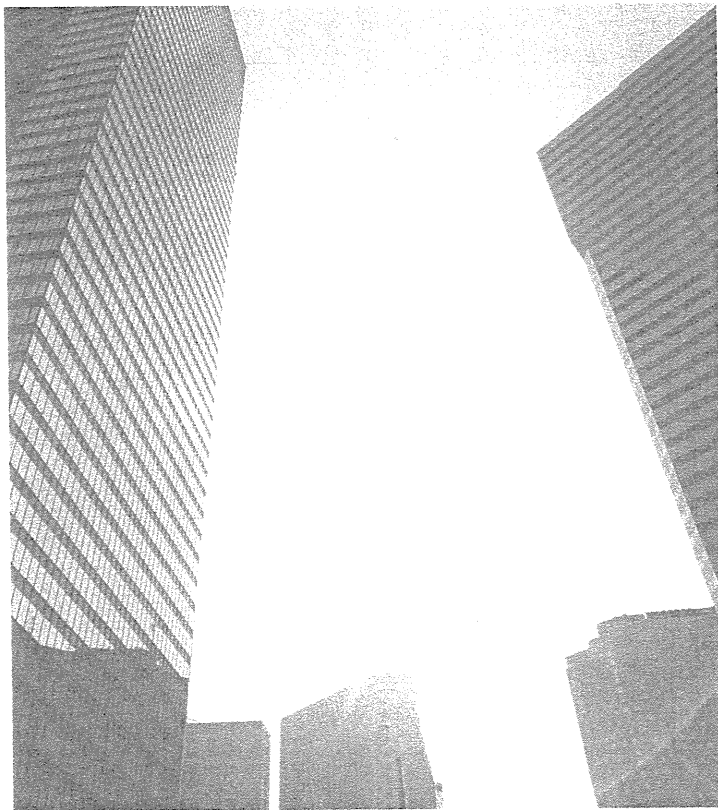
酒井 オフィスだけでなく住宅も同様ですが、日本人の住環境や生活環境に対する意識の問題があります。海外の企業や住宅空間と日本を比較してみると、一見同じように見えますが何かが違う。欧米では、突然自宅を訪問しても空間が完成されています。日本のように、「片付けるから少し待って下さい」ということがあります。物を収納する、置く、生活でどう使うかなどを考える意識が違います。お金持ちの家でなくてもレベルが高く、全体のバランスや家具デザインのコーディネートションもとても良い。暮らしぶりが良くまとまっているケースが多いです。

以前、アメリカの弁護士が日本事務所を構える時にデザインを手がけましたが、住まいと同じような感覚を持っていました。もちろん仕事のしやすさも考えますが、机も書棚も自分の居心地が良いものを求められます。素材なども住

宅環境とほとんど求めるものが変わります。

日本のオフィスも最近変わってきているように感じます。従来の

仕事の効率も上がるようなオフィス環境全体を考える企業が出てきました。オフィスだけが斬新になり、家だけが取り残されることは



島型対向のオフィスもあります。そうではない新しいオフィスも出てきています。オフィスでの滞在時間が長いので、居心地が良く、

ありません。家での暮らし方がある程度整ってくれば、整えることで効率が良くなる、整理しやすくなるといった意識が芽生え、オフ

イスでも同じような感覚を持つようになっています。日本人の生活環境全体が関わってくるでしょう。

—— 現在非常に厳しい経済状況ですが、今年はどう見られますか。

酒井 今年一年は難しいでしょう。不動産業界が悪いので、家具業界やインテリアなども影響を受けることになるでしょう。これまでは、不動産のプロジェクトに関わって家具やインテリア製品は動いてきました。それがダメになり、軒並み影響を受けています。再生するまでは2〜3年は掛かるかもしれません。

50周年事業や法律の変更、会員の増強を図らなければならないなど、やるべきことが多く、大変な時期に理事長に就任しました。理事会の中に改革検討委員会を作り、50年の歴史のある当協会をなんとかよい形で存続できるような見直しをするタイミングだと思っています。

当協会の歴代の理事長は、大変活躍された方の名譽職といった面もありましたが、私からは違います。実務が可能な人が就任し、団体の存続のために新しいことをいろいろ行っていく予定です。